

幼児には書かせないほうがよいと言うが、書きたがる場合はどうか。また、その場合筆順がでたらめなのをどう指導するか。

幼児は模倣が好きです。だから、親や兄姉が字を書くのを見る機会の多い幼児は、どうしてもそのまねをして、字を書きたがるでしょう。

でも、模倣は、ほんとうの意味での字を書いているわけではなく、でたらめを書いて楽しんでいるのですから、当然そのままに放置すべきものです。

幼児の描く絵を見ますと、頭が体よりも大きいような人の姿を描きます。手が頭から出ていることもあります。それは、物を見る目ができておらず、また、手も意のごとく操る能力ができていないためです。

だから、特別に指導し、特別に練習させなくても、目が肥え、手が発達すれば、ひとりでの、整った絵が描けるようになります。字だって同じことです。

二頭身、三頭身の絵を描いても、それを八頭身に直そうともせず、子供の描くままに任せておくのがよいように、字もお化けのような字で、筆順がでたらめであっても、子供の書くがままに任せておくのがよろしい。

変な筆順が身につきはしないかと心配するお母さんが多いようですが、習慣になるほど同じように書いているわけではありませんから、学校で改めて学習し、練習すれば、すぐ正しく書けるようになります。



お化けのような字でも子供の書くままに任せておく